

光が丘四季の香小学校研究だよりNo.6



平成26年10月10日(金)

光が丘四季の香小学校

校長 富澤 素子

校内研究推進部

家

紅葉の候、秋も深まって参りましたが、いかがお過ごしでしょうか。保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご協力・ご支援いただきありがとうございます。

さて、9月9日(火)に、6年1組で木田那奈教諭による研究授業を行いました。単元は「水溶液の性質」です。水溶液への興味・関心を高めようという導入の時間でした。さらに班での学び合い、学級での学び合いを意識した授業なので、子供同士で教え合う様子がよく見られました。

それでは授業、協議会の様子をご紹介します。講師は、元玉川大学教職センター教授、畑中喜秋先生でした。

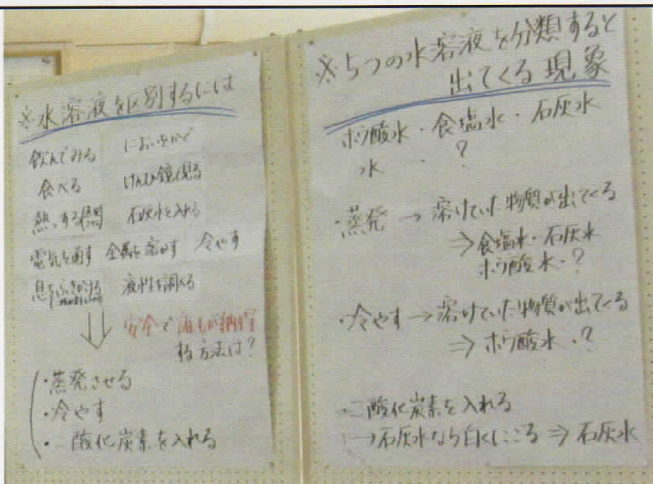
この授業で、児童に身に付けさせたい学習内容(この授業のねらい)

いろいろな水溶液の性質に興味・関心をもち、自ら水溶液の仲間分けをする。

〈問題〉無色透明の水溶液を区別するにはどうしたらよいだろうか。

A、B、C、D、Eの無色透明の水溶液を食塩水、石灰水、ホウ酸水、水、???に区別してみましょう。

実験方法は ①蒸発させる ②冷やす ③二酸化炭素を入れる
班ごとに①、②、③の異なる実験を行い、それぞれの班の実験の結果をもとにし、最後に学級で水溶液の区別をしましょう。



前時までの学習の流れが分かる流れ図を提示し、いつでも振り返られるようにしました。



二酸化炭素を入れるよ。

どれが白く濁るかな？

二酸化炭素を入れる実験

自分で学びタイム・学び合いタイム

班での実験の結果から、自分で考察します。それをもとに、班で自分の考えを伝え、話し合うことで班の考えをまとめます。自分の班の実験だけでわかったこと、わからなかったことを明確にしておくことで学級での学び合いに繋がります。